

岐路に立つイギリス

歴史から読み解く現在いま

EUからの離脱、スコットランドの独立問題、そして2度にわたる総選挙など、2010年代のイギリスでは、その進路をめぐっての政治的選択がおこなわれてきました。こうしたイギリスの〈現在いま〉を考えるためには、歴史的視点が必要となるでしょう。帝国からの撤退、ヨーロッパとの連合という国際関係の変化は、国内におけるスコットランドやウェールズでの地域主義の動きを噴出させてきました。また第二次世界大戦を起点とする福祉国家体制の確立、「英国病」とサッチャリズムの登場というかたちでの二大政党間の政治的コンセンサスの変化。そして、経済成長と移民の流入による階級社会から多文化社会への変容。国際関係や政治・経済のみならず、社会や文化をめぐる複雑な要因が絡み合いながら揺れ動くイギリスの姿を、戦後のあゆみのなかに位置づけていっしょに考えてみましょう。

話し手のプロフィール



長谷川 貴彦さん

北海道大学大学院文学研究科
西洋史学講座 教授 [近現代イギリス史・歴史理論]

1963年生まれ。東京大学大学院人文社会研究科博士課程修了。博士(文学)。1996年北海道大学文学部助教授、准教授を経て、2013年より現職。その間、オックスフォード大学、ロンドン大学で客員研究員も務める。著書は『イギリス福祉国家の歴史的源流』(東京大学出版会、2014年)、『現代歴史学への展望』(岩波書店、2016年)、『イギリス現代史』(岩波書店、2017年)など多数。

北大人文学カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究科との交流を深めていくことを目指しています。

お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科 研究推進室
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
TEL: 011-706-4083
Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp
<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>